

在ブダペスト

日本人会会報

ドナウ通信

御挨拶

在ハンガリー大使

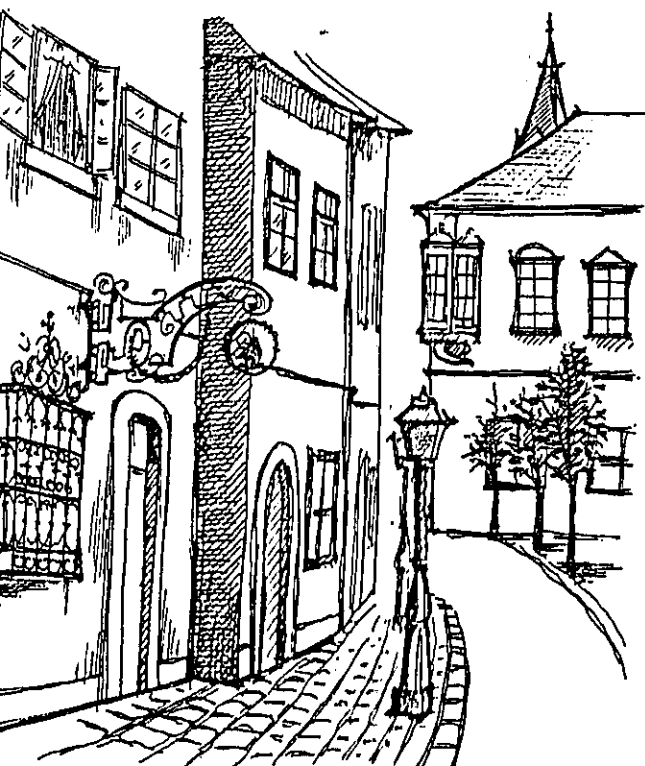
堤 功一

着任以来四十日ほど経ちました。ハンガリーには初めて来ましたので、すべて物珍しく見聞きしています。ブダペスト中心街の荘重な建物や、周辺部の立派な住宅に驚き、往時の富を偲びました。百年くらい前は欧州有数の金持ち国で、ウィーンよりも多くの銀行があったそうです。国会議長への御挨拶に議事堂にも赴きましたが、この建物や外側も美しいけれど内装も大層豪華です。オペラ座も同様でした。夏の特別公演で聴いたオペラの歌が上手で見事なのにびっくりしました。一千万少々の人口で、オリンピックでは金メダルを十一個も取りました。またワインも美味しい。オペラやオリンピック、ワインやヘレンドの陶器など文化のレベルはなかなか高いようです。

しかし、商品経済の発達度やインフラなど文明の面では西欧との差はまだ大きい。商品の選択の幅は、ずっと狭くて不便です。ある西欧の大使は、ハンガリーは「開発の遅れた西欧だ」と言います。十年か十五年前のスペインだと言った人もいました。モスコイとウィーンに比べるとブダペストは半分よりもまだモスコイ寄りだ、とはある同僚の意見です。オペラ座でドン・ジョヴァンニを聴きなが

ら、冷戦が終わり大戦争の脅威が激減して本当に良かったと思うと共に、ハンガリーの文化と文明の間の大きな落差に共產体制というものは時代の進行を数十年止めてしまっていたのか、との感慨を深くしました。

旧東欧の中でもハンガリーは政治的に安定し、経済も比較的うまくいっているとのこと注目されています。農業は強いし、製造業では医薬品関係、精度の高いある種の工作機械、食品加工、ソフトウェアなどに優れたものがあるようです。昔から学者、芸術家などで名のある人も多く、ハンガリー民族は有能だとの評判です。それにしても市場経済への転換は大変なことで、これには何年もかかるでしょう。



あるハンガリーの政治家は、共産主義によって間違ったプログラムを組まれていたので、今後は新しいプログラムで動かさなければならぬが、国民が慣れるまでには教育に時間がかかると言っていました。そう言えば何となく今のハンガリーはのんびりしているように見えます。夏休みシーズンのせいか、或いはブダペストだけ見ているからなのかもしれませんが、従来の情性もまだ有るのでしよう。

外国からの投資に期待するところ大のようですが、すでにハンガリーに求めている投資を成功させることがまず重要だ、と私は言っています。ハンガリーとしては、第一にECに頼りたいよう

うで、これは当然のことなのでしょうが、観光の方は大丈夫としても、得意の農産物であれ、工業製品であれ、競争してECに売り込んでいくには相当の努力が必要でしょう。前途は平坦ではないと思います。しかし西欧の方でも、特にイタリアやオーストリアなどは、安定し、繁栄するハンガリー、チ

エコなどの中欧を取り込むのがお互いの安定と繁栄のためと想っているのが基本的にはハンガリーを支援し、協力していくことに間違いないようです。周囲の隣国の状況は心配ですが、ハンガリーはまあ大丈夫だろうという気がします。

以上御挨拶に代えてハンガリーに参つてからの第一印象などを申し述べましたが、今の時期にこの地域に¹⁷いるのは仕事の観点から言って興味深いことで、積極的に取り組んでいきたいと思っております。何はともあれ皆様方の御支援を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

宣

大使館からのお知らせ

◎日本大使館では、次の通り文化行事として、生け花デモンストラーションを行います。

9月26日(土) 15時

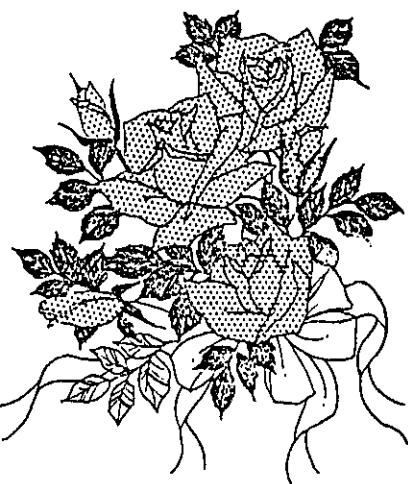
嵯峨御流 南秀月師範

於 国防省文化センター

(Budapest XIV, Stefania ut 34)

◎巡回医師団来洪

例年通り、外務省が派遣する巡回医師団による健康相談が本年10月に実施される予定です。詳しい日程などは決定次第お知らせ致しますのでご利用下さい。



運動会での忘れ物(傘、眼鏡)を補習校にて預かっています。お心当たりの方は御連絡下さい。

☎ 115-0282



人物往来 (敬称略)



大使館関係

△離任▽ 大久保 明 6月

△着任▽ 竹内 芳明 5月

商工会関係

△離任▽

CIB 藤原 邦晃 6月

(さくら銀行)

日本電気 西川 康志 6月

兼松 岸村 洋 7月

△着任▽

ハンガリートヨタ吉田 之憲 1月

CIB 中西 修平 6月

(さくら銀行)

日本電気 小石 亨 6月

兼松 古屋 昭典 7月

大和ハンガリー 岡部 壮一 8月

日本人会より

〔1〕セキュリティ問題

①一時は、毎日のように起こっていたスキン・ヘッドによる暴行事件も、最近は余り聞かなくなりました。

しかし、本家のドイツでは、より大きな問題になっておりますので予断は許しません。街角で、頭を刺ったグループを見かければ、近付かないよう引き続きご用心下さい。

②一方、こそ泥、窃盗の類いの発生件数が増えております。

例えば、日本人旅行者で、盗難に遭った件数は、この夏だけで20件にもものぼっております。(パスポート盗難のため大使館に届け出のあったものだけで20件ですから、実際はもっとあるものと思われま

す)

ング・スタイルの朝食で、料理を取りにテーブルを離れたすきに、

テーブル、椅子に置いておいたバッグを盗まれてしまったというものです。

駐車中の盗難も増えております。路上に駐車の際には、車内に(外から見える所に)バッグなどを残さないように心掛けて下さい。

また、空き巣に対して、家の鍵を2つつけるなど工夫をしてはいかがでしょうか。

〔2〕日本人会の催し

秋になり、日本人会の催しを各種準備しております。

ソフトボール、音楽会、映画会が続きます。

ご案内は、準備が整い次第、皆様のお手許まで郵送いたしますので、ごぞってご参加下さるようお願い申し上げます。

補習校便り

現地校・アメリカンスクールが夏休みに入った6月中旬より約1か月にわたり、補習校では夏期集中授業が行われました。今年はお向かいのオールダーシュ・イシュコラの教室もお借りして、月曜日から土曜日まで、日本の学校とほぼ同じ時間割りで授業をしました。

普段の授業では国語・算数が中心なのですが、集中授業中は社会や理科・体育・図工・音楽など、子供達にとっては魅力的な科目がたくさんあり、毎日補習校に通うのが嬉しくてたまらない様子。特に楽しみにするのはお弁当の時間で、「今日のおかずは何かな?」とちよっぴりドキドキしながら蓋を取っていました。

集中授業中には合宿、運動会という子供達が楽しみにしている大きな行事が2つありました。

まず合宿は、今年はブダベスト郊外のペトネハージイ・カントリークラブ

で1泊し、乗馬、水泳、ハイキング、調理実習などいろいろな体験をしました。中でも乗馬は、ほとんどの子供が初めての経験ということで少し心配でしたが、指導員の指示に従って大変上手に馬に乗っていました。乗る前は馬を怖がっていた子も、自分の番が終わると「もう一度乗りたい。」等と言い出す位でした。特に低学年の頑張り乗馬の指導に当たって下さった方から「素直で、非常に教えやすい子供達だった。」とお褒めの言葉をいただく程で、感心させられました。

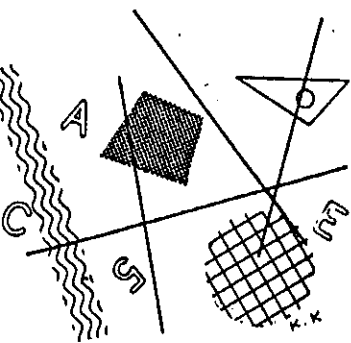
調理実習はカレーとサラダ作り。前日に家でリハーサルをしてきた子もいれば、「僕いつも家でやってるから。」と言いながらキュウリをとでも薄くスライスしてくれた子など、皆で協力してとてもおいしいカレーとサラダができました。あまりのおいしさに一人で3杯食べた人もいます。

今回の合宿では、全体を5つの班に分け、班ごとの行事も多かったのですが、高学年の班長がよきお兄さん、お

姉さんらしさを発揮し、責任を持って自分の班の面倒を見てくれました。

楽しかった合宿が終わると、翌週は毎日運動会の練習。オールダーシュ・イシュコラで練習していると、工事現場で働く人達がしばし仕事の手を休めて見物していました。花笠音頭やラジオ体操などは、音楽に合わせて体を動かしている人さえいました。

運動会当日は、朝から雨模様で外の開催が危ぶまれるほどでしたが、すっかり晴れ上がり、お昼頃には暑くて汗ばむほどでした。練習の成果もあってプログラムは順調に進み、後2種目を残すのみとなったところで突然の大雨。全員大急ぎで体育館に避難しまし



た。子供達が楽しみにしていた混合リレーは残念ながら中止となりましたが全員がメダルや賞品を手にし、思い出深い運動会となりました。

現在夏休みに入り、子供達は1学期に学んだものを反芻していることでしょう。2学期にはさらに遅しくなった姿を見せてくれるのを楽しみにしています。
(梅村 欣世子)

作文

さわがしかった合宿の夜

四年 藤島 ももこ

一年生がお風呂に入った後、私とう子さん、りょう子ちゃんでお風呂に入りました。入った後、お風呂に水をいっぱい入れて、いたずらをしました。その水は、次に入るミリアさん用でしたが、ミリアさんは、シャワーを浴びたのでその水は意味がなかったよ。うなかんじでした。

お風呂に入った後トランプを私とり

よう子ちゃんが寝るベッドでやりました。ミリアさんがお風呂に入っている間は、ババ抜きをしました。ミリアさんがお風呂から上がってきたら、二つのチームに分かれて、大貧民をしました。

一年生は、大貧民を知らなかったのを教えてあげました。最後にババ抜きをするときは、りょう子ちゃんはやらないでベッドにねっころがっていました。

やっている途中、りょう子ちゃんが急に、
「うーん、うーん。」

と、うなりだしたのでみんなびっくりして、

「だいじょうぶ？」

「どうしたの？」
と、いって、大さわぎになりました。

そして、急いで先生達の所へミリアさんと私で先生達を呼んできました。でも、何でもないようなのでみんなは

ほっとしました。

先生達が帰った後、ミリアさんが、「あっ、時計がこわれちゃった！」

と言いました。みんなあわてて起きてきました。そして、また、先生達のところに私一人で行きました。先生達の部屋は遠いので少しこわかったです。けれど、先生は、

「だいじょうぶ、安心なさい。」
と、言ったので部屋にもどりました。

そして、これでやっとみんなねられると思ったら、一年生のちさちゃんが「かにさされてとつてもかゆいから、先生達の所に連れてって。」

と言いました。りょう子ちゃん、よう子さん、私、ちさちゃん、先生達の所に行きました。ちさちゃんは、一年生なので、おんぶしてあげました。部屋に帰ったら、今度こそ、やっとねれました。

三回も先生達の所に行って、とてもさわがしい合宿の夜だったなあと、思いました。

①お家内 (O KANJI)

大学の日本語の授業でのことです。

家族の呼び方の一般称、敬称を教えた時のことです。自分の家族について言うときは父、母、姉、…主人、家内等々。他人の家族について言うときはお父さん、お母さん、お姉さん、…ご主人、奥さん等々。翌週復習しました。私が一般称を言い、学生は敬称を言うという練習です。

- 「父」↓「お父さん」
- 「母」↓「お母さん」
- 「姉」↓「お姉さん」
- 「主人」↓「ご主人」
- 「妻、家内」↓「お家内」?!

②梨を点けましょう

あるハンガリー人ガイド嬢のプライベートレッスンの時のお話です。彼女はガイドなので、会話だけ教えてほしいと私の所へ来ていました。大変熱

心な人で、短期間にかなり話せるようになっていました。

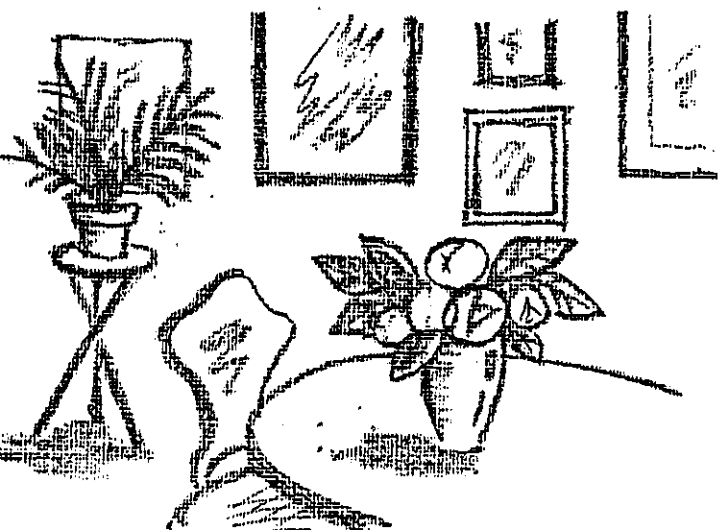
ある日の夕方、彼女は突然電球を指さし、「ハンガリー語ではKORTEといいますが、KORTEは日本語で何と言いますか。」とハンガリー語で尋ねました。「KORTEは日本語では梨と言いますが、電球の場合は…」と言いかけると、彼女は「そろそろ暗くなってきましたから、梨を点けましょう。」と上手な日本語で言いました。

③父は殺されたのか

これも大学の授業でのことです。この日は受身される、られるのところ。現代ハンガリー語では受身の形が殆ど使われていないので、とても理解しにくいのです。

泥棒に入られる 赤ん坊に泣かれる 父に死なれる 等々
誰かが、誰かによって、苦痛を感じるような行為を受けることという内容を受身でない言い回しで説明するわけです。問題は「誰かが」と「誰かによっ

て」のダレカが誰なのかという所にあります。「子供の頃、父に死なれました。」という文の主語は一人称であるわけですが、ここで混乱が生じることになりました。「父に死なれた」というような文では、特に間違えやすいのです。苦痛を感じるような行為？ 死ぬのは苦痛だったんだな…そうか、誰かが父を殺したんだな、とこうなるわけです。



④ポテトチップに池の魚を投げました
友人の一人に難聴学級の教師をし、
今は、ことばの教室”で教えている人
がいます。この教室は通級制であちこ

ちの学校から子供達が通ってきます。
難聴、自閉情緒障害、その他様々な重
複障害のために、ことばの獲得が正常
にできなかった子供達のための教室で
す。「まるで外国人と話しているみた
いだ。」とその友人はよく言っていま
す。

ある日子供達は小さな池のある公園
に遠足に出かけました。自分が実際に
行動したことを文にして、正しい言葉
の使い方を増やして行くのが目的です
ある子供が「ポテトチップに、いけの
さかなを 投げました。」と書きまし
た。この子供には、池の中に魚がいた
ことも自分の持っていたポテトチップ
を投げてあげたこともちゃんと分かっ
ているのです。助詞の概念に慣れてい
ないだけです。障害もなく、普通に育
った子供には何でもないことが、何等

かの障害によって、ことばの獲得が正
常に進まないといんな事も起こり得る
という笑えないお話です。

⑤ヨージさんの日本語。

私が初めてハンガリーへ来た198
2年のことです。この時色々世話を
してくれたのが「JOSEF」と言う人で
二年ほど日本のハンガリーレストラン
でシェフとして働いたことのある人
です。私たちは彼を「ヨージさん」と呼
んでいました。彼は少し日本語を話し
ます。当時、私はまだハンガリー語を
勉強しておらず、また、ヨージさんは
余り英語を話せないもので、共通語は日
本語でした。彼の日本語はとても難解
でした。例えば、
ー ショッコサン ブレックファースト
イデスカ？
(笹子さん、朝御飯を食えますか)
ー ココハ ウチ。アレハ ダイジョウ
ブ。
(ここで、私のうちで食べなさい)

ー ダメデスネー。アナタハ ウチ タ
ベマス。

(駄目ですねえ。食べなくては。用
意してあるからうちで食べなさい)

ー 2ジ 3ジ エアポート オーケー

(2時か3時に出発すれば、飛行機
に間に合います。)

ー ワタシ イキマス エアポート
2ジマデ

(私が空港へ送ってあげます。出発
は2時です。)

ー アナタ ヨンジ ゲレールトホテル

イデスカ？

(あなたは4時にゲレールトホテル
にいらっしゃい。そこで待ってい
ます。)

私の日本語もこんな風になりました。

ー ワタシ イキマス ゲレールトホテル

ヨンジ イデス

共通語とは、単に共通する言語とい
う意味だけでなく、共に話せる言葉と
いう意味もあるのだと感じたことでし
た。

「蛇足」ハンガリー語の話せる日本人

の友人宅のパーティーで

誰かが、「楊枝ありますか。」と日本語で言いました。ヨージさんはハンガリー語で「はい、ここにいますよ。」と答えました。ハンガリー語には、いるとあるの区別がありません。次の会話はハンガリー語で交わされました。友人が言いました。

「楊枝ってすごく細いんですけど。」

それに答えてヨージさん

「ああ、それでは私ではありません。」

888

やぶにらみ歳時記③

夏の芳

天気予報を必要としない代表的な地域の一つは、アラビア半島の夏である。死の砂漠との異名を持つルブアリ砂漠では、その激しい夏の太陽が、いかなる生物をも焼き尽くしてしまうと言う。

来る日も来る日も気の遠くなるよう

な快晴が半年以上に亘って続く。それでもアラビア半島諸国のテレビ放送では、いかつい髭面のアラビアン正装の男性アナウンサーが真面目な顔で天気予報をやっているのは何とも間の抜けた光景と言えるが、アラブ人達にとり暑さは生活に根付いており、天気は話題にもならない。

ところで今年のハンガリーは、アラビアの話を書えない、天気予報の要らない国の仲間入りをしてしまった。毎日が快晴。雨のない日が50日程も続いた上に、暑さも中東並み。ハンガリー人達の話題を独占してしまった。冷房設備をほとんど持たないハンガリー人にとっては、実質、中東以上に暑い夏を過ごしたのではと思う。

「異常気象」の一言で片付けてしまふのは簡単なれど、この素晴らしい大平原が砂漠化したのでは情けない。地表の水分が蒸んでしまつて、灌漑施設を持たない農民たちの熱い涙を雨に交

えてやりたい。

9月の声を聞いて、さすがの天の神も場違いに氣付いたか、一夜にして10度以上も気温が下がるという離れ業を見せてくれた。もうすっかりと秋である。

ところが、ハンガリーの周辺国を見ると、何とも天候以上に不気味なもの行り。民族主義の再台頭は単なる歴史の繰り返しなれど、これが恐ろしい。トリアノン条約にて手足をものがれてしまったと悔やんだハンガリーではあったが、今にして思えば、エルデーイは別として、危険患部を切り離して貰ったということだったのだ。しかし、患部に残されてしまったハンガリー人たちは、秋の気配にも拘らず熱さを増して行く民族主義の流れの中でじっと耐えている。一方では地球家族が呼び掛けられているときに、この熱し続ける人々を一夜にして冷ます離れ業はないものだろうか。

私の運転始末記

松島 祥子

ななかまどの実が赤く色付き、朝夕の風もあの曇さを忘れたように冷たくもうすっかり秋の気配の今日この頃。

4年前の1988年9月1日、まだ小学校3年生だった娘とブダベスト フェリヘジ第1空港に到着した。

主人のハンガリー駐在の辞令が出た後、渡航準備と自動車教習所に通い続けた。当時はまだ、アメリカンスクールとブダベスト日本人補習校の間のスクールバスがなく、子供の送り迎えのために車の運転は必要不可欠だった。やっと手にした運転免許証だ。

ブダベストで私を待っていた車は、BMW 525i。ボディは色目も鮮やかなベージュ、そしてマニュアル車。身に過ぎた車で、人目に付きそうだった。

まず、Tマークを付け、ハンガリー

人のインストラクターに就いた。車庫の出し入れがまず一仕事で大変。町の角々でエンストを起こした。「もし右折できる可能な最初の角を右に曲がり：」難解な英語を聞いている間に、角の2つ3つは通り過ぎてしまった。「あの難しい日本で免許を取ったとは思えない。」とインストラクターに言われてしまった。

愛車は常に満身創夷で目を覆うばかりだ。

最初はわが家から目と鼻の先の補習校のお迎えから始まった。そしてお買い物。前任地のワルシャワに比べれば長い行列もみられず、お肉も配給でなく自由に買ったが、日本のように近くのスーパーというわけではない。例えばゴミ袋でも、一度店頭になくなると町中のABCを回っても見付けることは出来なかった。

当時のハンガリーはカダールの退陣以後、政治改革が進み、まさに激動の時であった。その中で海部総理がJALに乗って来洪し、小雪の舞う空港で

お出迎えをした。また、テレビ局が「東欧の企業戦士」と主人の会社に取材にきて、社内で大変緊張したのも懐かしい。日本の新聞にハンガリーのなんらかの記事が出ない日はなかった。見る見るうちにいろんな品が町中に出回り、これがブダベストかと目を疑うこの頃だ。

街の東にIKEAがオープンしてハンガリーっ子の憧れとなり、アメリカンスクールの高学年が生徒の増大でイシュテンヘッジの山の上に移った。それらと共に、私の運転距離も延びていった。

何度かウィーンへ、またスキーにと主人の運転で出かけたが、私の行動半径はブダベストの町の中10キロ以内である。運転を始めてからの車の走行距離が4万キロを越えた。大切な命を私に預け、一緒にどこへでも行っただ下だったお友達とフロントガラス越しに見たブダの丘、国会議事堂の勇姿、あの橋、この街角の景色がこの4万キロとともに私の大切なブダベストの思い出だ。

ハンガリー風キュウリのサラダ

暑い夏に冷たいハンガリーサラダをどうぞ。

(材料)

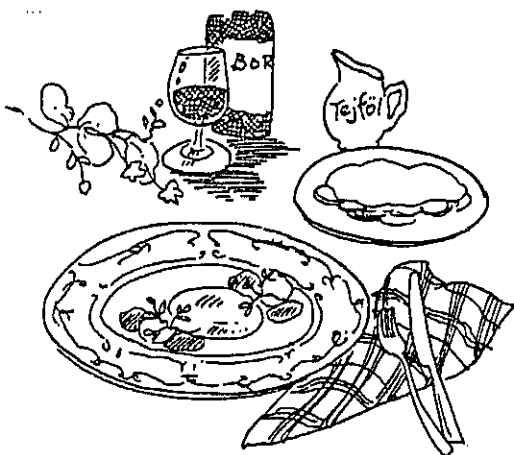
キュウリ	500g
にんにく	1かけ
ピーマン	1ヶ
甘口(cats)	1/2ヶ
辛口(cats)	1ヶ
トマト	1ヶ
酢(10%の時)	大さじ2杯
砂糖	小さじ2杯
塩	小さじ1杯半
こしょう	少々
パプリカの粉	小さじ2杯
水	200cc前後
サワークリーム	大さじ2杯

(Tejfo1)

(作り方)

- ① キュウリを薄切りにし、塩をしておく。
- ② ピーマン、トマトは薄切り、にんにくは細かくみじん切りにする。
- ③ キュウリの水をざっと切り、にんにく、酢、砂糖、こしょう、パプリカ粉と混ぜ合わせ、ひたひたになるくらいの水を入れ、味を調える。
- ④ 残りの野菜も合わせられ、冷蔵庫で冷やし、食べる直前にサワークリームを入れ、いただく。

(由)



〔編集後記〕

異常な暑さに恐れおののいているうちに、原稿の纏めがずるずると遅れてしまい、ふと気付いたら秋がそこにやってきていました。

日本の残暑はまだ続いているとか。それに比べれば未曾有の暑さであったハンガリーの夏は主張がはっきりとして気持ちいいものかも知れません。

日本人会の皆様方も、それぞれの夏を休暇や勉強やハードワークで乗り切られたものと思います。

ドナウ通信を愛読していただくためにそれなりの努力をしているつもりですがやはり生命は皆様方からの原稿です。

ハンガリーの地と同じくして生活する我等日本人として、是非ともドナウ通信を育て充実させたいと願う編集部です。秋季号への皆様方の参加を希望します。

尚、末尾になりましたが、本号の発行が遅れ込んだため、一部の文章に時間的ずれが生じてしまいましたことおわび申し上げます。